

所 属	農政部 農業技術課		
担当(係)名	ｸﾘｰﾝ農業担当	内線	2846

新 生産工程管理（GAP）手法導入による県産農産物の安全性の確保

< 長期構想推進重点政策枠事業 >

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
1,200 (前年度 0)	国庫 600 一般財源 600	印刷製本費 400 消耗品費 486

2 背景・現状

中国産野菜の薬物中毒事件や汚染米など食の安全を脅かす事件の発生を踏まえ、本県農産物の安全性を確保し、消費者の信頼性を得ることが急務となっており、そのための生産から出荷に関わる管理体制の一層の強化が求められている。

3 事業目的

農産物の生産及び出荷段階における食品安全上の危害要因リスク（農薬、病原性微生物、異物混入など）を低減・管理することが可能な、GAP手法（農業生産工程管理手法）の導入により、県民へ安全・安心な農産物の供給を図る。

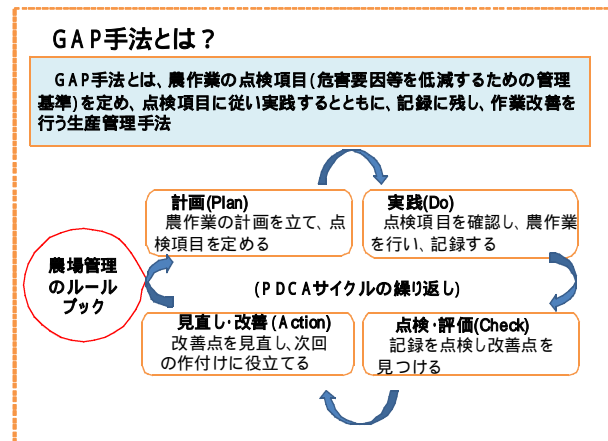
4 事業概要

(1) GAP手法の導入・普及

- ・ GAP導入普及推進マニュアル（県版GAP）の作成
- ・ GAP普及推進会議の開催
- ・ 農業者等を対象とした研修会の開催

(2) GAP手法指導者の育成・確保

- ・ GAP手法に関する専門知識を有した指導者の育成(21年度：4名)



【GAPの取組状況】

海外の動向：EUなどを中心にグローバル化が進展。韓国や中国など各国独自制度も拡大。
 全国の動向：民間団体（JGAP）や流通業者（イオンなど）の独自取組のほか、静岡県や鹿児島県など数県が独自の県版マニュアルにより推進しているほか、国は最もチェック項目の少ない基礎GAPを提唱している。
 JAグループの動向：生産履歴の記帳運動からGAPへのレベルアップを目指すことを決議
 本県の動向：神戸町の生産者がイオンGAPに取り組んでいる（H20年4月～）

(款)6 農林水産業費 (項)1 農業費 (目)(2) 農業振興費
 (明細書事業名) 総合農政推進費
 農産物の安全・安心生産管理システム普及啓発事業費